

平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月14日

上場会社名 日本アイ・エス・ケイ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7986 URL <http://www.king-ind.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾根栄二
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 小林勇司 (TEL) 029-869-2001
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	3,933	1.9	207	△26.7	234	△24.3	166	△22.4
29年12月期第3四半期	3,860	△8.2	282	△26.2	310	△26.4	214	△26.9

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 161百万円(△32.9%) 29年12月期第3四半期 241百万円(△17.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	93.80	—
29年12月期第3四半期	120.92	—

※平成30年7月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行ったため、前連結会計年度の期首に株式併合が行われたものと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	4,882	2,988	60.2
29年12月期	4,612	2,880	61.5

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 2,940百万円 29年12月期 2,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	—	—	3.00	3.00
30年12月期	—	—	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成30年7月1日を効力発生日として普通株式10株を1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、平成30年12月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年12月期の1株当たり期末配当金は3円00銭となります。

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	3.4	260	△26.6	280	△28.0	210	△21.3	118.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※1株当たり当期純利益は、平成30年7月1日付で株式併合を行ったため、株式併合後の株式数を基にして算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年12月期3Q	1,776,000株	29年12月期	1,776,000株
30年12月期3Q	1,340株	29年12月期	1,316株
30年12月期3Q	1,774,677株	29年12月期3Q	1,774,684株

※平成30年7月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行ったため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益並びに雇用の改善がみられる一方で、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動等、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、積極的な営業活動に取り組み、技術開発力の強化、経費の削減等諸施策を展開いたしました結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高39億33百万円（前年同期比1.9%増）、経常利益は2億34百万円（同24.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億66百万円（同22.4%減）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

鋼製品関連事業の売上高は11億13百万円（前年同期比5.3%減）となりました。耐火性だけでなく、情報保護、防盜性強化等多様化する顧客ニーズに対応するため、操作履歴機能付指紋認証キーボックス、指紋認証耐火金庫、データメディア耐火金庫等高付加価値製品の販売促進等積極的な営業展開に努めましたが、前年同期実績を下回りました。

デンタル関連事業の売上高は11億37百万円（前年同期比6.9%増）となりました。各種歯科用ユニット等の新規開発及び買替需要に対する営業活動等積極的に展開いたしました結果、前年同期実績を上回りました。

書庫ロッカー関連事業の売上高は13億69百万円（前年同期比4.4%増）となりました。札幌工場・川島工場の生産性向上、新規開拓推進等に努めました結果、前年同期実績を上回りました。

OAフロア関連事業の売上高は93百万円（前年同期比5.9%増）となりました。

不動産賃貸関連事業の売上高は1億62百万円（前年同期と同額）となりました。

その他の売上高は58百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は48億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億70百万円増加しました。

流動資産は27億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金の増加1億19百万円、受取手形及び売掛金の増加2億7百万円等により、3億29百万円増加しました。

固定資産は21億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ、有形固定資産の減少26百万円、退職給付に係る資産の減少25百万円等により、59百万円減少しました。

流動負債は15億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ、支払手形及び買掛金の増加1億34百万円、賞与引当金の増加95百万円、未払金の減少98百万円等により、1億74百万円増加しました。

固定負債は3億円となり、前連結会計年度末に比べ、繰延税金負債の減少15百万円等により、12百万円減少しました。

純資産は29億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金の増加1億13百万円等により、1億7百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年8月7日公表の業績予想に変更ありません。なお、業績見通しに変更が生じる場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	737,552	857,060
受取手形及び売掛金	1,391,901	1,598,951
商品及び製品	144,319	114,576
仕掛品	17,111	18,170
原材料	123,436	120,594
繰延税金資産	21,411	55,717
その他	2,846	3,497
流動資産合計	2,438,579	2,768,567
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	425,204	399,451
機械装置及び運搬具(純額)	186,601	158,333
土地	980,731	980,731
建設仮勘定	—	28,800
その他(純額)	17,466	16,061
有形固定資産合計	1,610,004	1,583,377
無形固定資産		
ソフトウェア	6,342	4,645
無形固定資産合計	6,342	4,645
投資その他の資産		
投資有価証券	192,817	186,303
退職給付に係る資産	280,163	255,098
敷金及び保証金	84,017	83,957
その他	310	310
投資その他の資産合計	557,307	525,668
固定資産合計	2,173,654	2,113,691
資産合計	4,612,234	4,882,259

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	826,724	961,289
未払金	216,780	118,000
未払法人税等	47,346	76,273
未払消費税等	47,878	44,510
賞与引当金	47,856	142,932
その他	231,743	249,753
流動負債合計	1,418,329	1,592,760
固定負債		
繰延税金負債	198,957	183,647
役員退職慰労引当金	50,114	55,216
その他	64,224	62,127
固定負債合計	313,295	300,990
負債合計	1,731,625	1,893,750
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,090,800	1,090,800
資本剰余金	64,000	64,000
利益剰余金	1,610,690	1,723,919
自己株式	△2,313	△2,350
株主資本合計	2,763,177	2,876,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72,215	64,535
その他の包括利益累計額合計	72,215	64,535
非支配株主持分	45,215	47,604
純資産合計	2,880,608	2,988,509
負債純資産合計	4,612,234	4,882,259

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	3,860,300	3,933,882
売上原価	2,702,221	2,831,339
売上総利益	1,158,078	1,102,542
販売費及び一般管理費	875,206	895,061
営業利益	282,872	207,480
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2,548	2,875
作業くず売却益	11,423	16,216
助成金収入	1,800	—
補助金収入	10,000	6,095
その他	2,005	2,319
営業外収益合計	27,777	27,507
営業外費用		
手形売却損	170	—
その他	44	—
営業外費用合計	214	—
経常利益	310,436	234,987
税金等調整前四半期純利益	310,436	234,987
法人税、住民税及び事業税	128,887	111,607
法人税等調整額	△36,026	△46,228
法人税等合計	92,861	65,379
四半期純利益	217,574	169,608
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,981	3,139
親会社株主に帰属する四半期純利益	214,592	166,468

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	217,574	169,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,587	△7,679
その他の包括利益合計	23,587	△7,679
四半期包括利益	241,162	161,928
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	238,180	158,788
非支配株主に係る四半期包括利益	2,981	3,139

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鋼製品 関連事業	デンタル 関連事業	書庫ロッカー 関連事業	OAフロア 関連事業	不動産賃貸 関連事業	計				
売上高										
1. 外部顧客への 売上高	1,175,525	1,064,348	1,311,921	88,414	162,270	3,802,480	57,820	3,860,300	—	3,860,300
2. セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	10,621	—	—	10,621	—	10,621	△10,621	—
計	1,175,525	1,064,348	1,322,543	88,414	162,270	3,813,101	57,820	3,870,922	△10,621	3,860,300
セグメント 利益	175,532	49,451	127,833	10,341	127,711	490,870	12,181	503,052	△220,179	282,872

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工具の販売等を行っております。
 2 セグメント利益の調整額△220,179千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼製品 関連事業	デンタル 関連事業	書庫ロッカー 関連事業	OAフロア 関連事業	不動産賃貸 関連事業	計				
売上高										
1. 外部顧客への 売上高	1,113,124	1,137,336	1,369,078	93,613	162,270	3,875,423	58,458	3,933,882	—	3,933,882
2. セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	8,767	—	2,484	11,251	—	11,251	△11,251	—
計	1,113,124	1,137,336	1,377,846	93,613	164,754	3,886,675	58,458	3,945,133	△11,251	3,933,882
セグメント利益	119,541	81,948	87,524	5,472	130,808	425,294	14,817	440,112	△232,632	207,480

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工具の販売等を行っております。
 2 セグメント利益の調整額△232,632千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。